

第77回日本体力医学会中国・四国地方会のご案内

期 日：平成28年6月11日(土)、12日(日)
会 場：福山市立大学研究棟1階 中講義室A
(広島県福山市港町2-19-1 港町キャンパス)

○プログラム

1 日目：平成28年6月11日(土)
12：45～13：30 幹事会
13：30～13：50 受 付
13：50～14：00 挨拶
14：00～16：00 研究発表(1)
16：00～16：15 コーヒーブレイク
16：15～17：45 特別講演
「健康づくりにおける最近の話題
ー都市環境と身体活動・運動」
講師：井上 茂 先生
(東京医科大学主任教授)
19：00～21：00 情報交換会
2 日目：平成28年6月12日(日)
9：00～9：30 受 付
9：30～12：00 研究発表(2)
12：00～12：30 総 会

○大会参加費

無 料 (日本体力医学会の非会員者は1,000円)

○情報交換会

情報交換会費：5,000円(学生・院生：3,000円)
*会費の支払いは、学会当日に受付にてお願いします。

○一般発表について

- ・発表時間は、発表10分、質疑応答4分の計14分とします(演題数によって変更有り)。
- ・発表は、パソコンの画面映写とします。プロジェクタはこちらで準備します。
- ・事務局側で準備するパソコンのOSおよびアプリケーションは以下の通りです。
OS：Windows 7 Enterprise：Power Point 2010
(Macintosh本体の用意はいたしません)

- ・ご自身のパソコンを持ち込まれて発表されても構いませんが、ケーブル接続等の作業は発表者ご自身でお願いします。
- ・Macintoshはプロジェクタとの接続に変換ケーブルが必要です(変換ケーブルの種類は機種によって異なります)。ケーブルは発表者が必ずご持参下さい。

○会場案内

福山市立大学HP：<http://www.fcu.ac.jp/> 参照

○宿泊施設

福山駅近辺のホテルは、大学および繁華街に近く、お勧めです。福山駅から大学までは徒歩で約20分程度です。

詳しくはインターネット等でお調べいただき、各自で手配をお願いします。

○学会誌「体力科学」への掲載用原稿

学会誌「体力科学」への掲載用原稿は、地方会事務局がとりまとめ、学会誌編集事務局へ送付します。下記の書式に従いE-mailにて6月19日(日)【必着】までに地方会事務局へお送りください。

なお、筆頭著者は日本体力医学会の会員に限られますが、共著者はその限りではありません。

掲載原稿送付先：jspfsm@mw.kawasaki-m.ac.jp
(地方会事務局)

(提出原稿書式)

- 1) 原稿の1枚目から演題名、発表者名、所属名、本文の順にお書きください。
- 2) 900字以内になるよう作成してください(演題名、発表者名、所属名、本文を含む)。
- 3) 図表は認められません。

○問い合わせ等

〒721-0964 広島県福山市港町2-19-1
福山市立大学都市経営学部 林 聡太郎 宛
TEL：084-999-1134(直通) FAX：084-928-1248
E-mail：chushijspfsm77@fcu.ac.jp

第25回日本体力医学会東北地方会開催のご案内

日 時：平成28年6月24日(金) 幹事会、懇親会
25日(土) 大会

会 場：

幹事会 ホテル ナクアシティ弘前
(JR弘前駅中央口徒歩1分正面左側)
(弘前市大町1-1-2 TEL0172-37-0700)
大 会 弘前大学教育学部(1F大教室)
(弘前市文京町1 TEL0172-39-3313・3393)

日 程：

6月24日(金) ホテル ナクアシティ弘前
17：00～18：15 幹事会
18：30～20：30 懇親会
6月25日(土) 弘前大学教育学部(1F大教室)
9：00～ 受 付(1F大教室前)

9：30～11：30 一般演題発表

11：40～12：00 総 会

12：00～13：30 昼休み

13：30～15：40 基調講演・公開シンポジウム
(一般公開：無料)

15：40 閉 会

基調講演・公開シンポジウム(一般公開・無料)

(1) 基調講演(13：30～14：05)

演題「学校・職域・地域での健康啓発における運動の役割」

演者 中路重之(弘前大学大学院医学研究科社会医学講座・教授)

司会 戸塚 学(弘前大学教育学部保健体育講座・教授)

(2) 公開シンポジウム (14:10~15:40)

テーマ「学校・職域・地域での健康教育と運動」
 コーディネーター 中路重之 (弘前大学大学院医学研究
 科社会医学講座・教授)

シンポジスト

- ①上野秀人 (弘前大学教育学部保健体育講座・教授)
- ②高橋一平 (弘前大学大学院医学研究科社会医学
 講座・准教授)
- ③鈴木玲子 (東北福祉大学社会貢献センター予防
 福祉健康増進室・特任准教授)

*公開シンポジウムは、会員以外の一般の方も無料で
 ご参加いただけます。

演題発表について

- (1) 一般演題の発表時間は、15分(発表10分、質疑
 応答5分)の予定です。
- (2) 発表機器は液晶プロジェクターとします(スラ
 イド不可)。使用パソコンを事務局で準備いたしま
 す(OS:Windows 7, アプリケーションソフト:
 Power Point 2013)。発表時のパソコン操作は各自
 でお願ひ致します。

Power Pointのファイルは6月13日(月)までに事務局
 にメールでお送り下さい。事前のご送付が難しい
 場合は、当日会場にてUSBファイルを保存、受け付
 けます。メールでお送り下さった方も、念のため当
 日、USBファイルをお持ち下さい。パソコンに保存
 したファイルは大会終了後、消去致します。

大会参加について

- (1) 事前登録について 当日も受付できますが、準
 備の都合上、できるだけ事前登録をお願い致します。
 所定の用紙に記入し、メール添付で大会事務局まで
 お申し込み下さい。事前登録の方には、予稿集をお
 送りする予定です。
- (2) 参加費 無料です。
- (3) 事前参加登録等締切日 大会参加・懇親会申込
 締切日 平成28年6月10日(金) 必着
- (4) 懇親会のご案内 大会前日に懇親会を開催いた
 しますので、ふるってご参加くださいますよう、ご
 案内申し上げます。
 日時:平成28年6月24日(金) 18:30~20:30
 場所:ホテル ナクアシティ弘前
 (JR弘前駅中央口下車徒歩1分:正面左側)
 会費:5,500円(当日、受付にてお支払い下さい)
- (5) 宿泊 大会事務局で特に斡旋は致しません。恐れ
 入りますが、各自でお申し込み下さい。

大会事務局

〒030-0132 青森県青森市横内神田12番
 青森中央学院大学 奥村俊樹付
 日本体力医学会東北地方会第25回大会事務局
 TEL 017-757-8417 FAX 017-738-8333
 E-mail: okumura@aomoricgu.ac.jp

「第11回運動免疫学研究会」・「第33回筋肉の会」ジョイントミーティングならびに 「第1回身体運動制御の会」(旧筋電図の会)のご案内(第1報)

昨年同様に平成28年度も「運動免疫学研究会」と「筋
 肉の会」は共同開催と致します。「第1回身体運動制御
 の会」は、32年間続いた「筋電図の会」から心機一転、
 名称を変更しまして、新たにスタートいたします。なお、
 「身体運動制御の会」は、単独開催となります。いずれも
 第71回日本体力医学会大会1日目に開催する予定です。
 確定ではありませんので、変更の可能性がありますこと
 をご承知ください。参加にあたってとくに手続きは必要
 ありません。Openな会です。どうか奮ってご参加頂
 くと共に、関係各位へお知らせ頂きますようご案内申し上
 げます。なお、詳細(発表者、演題名、懇親会等)につ
 いては第2報(体力科学65巻4号、8月1日発行)に掲
 載する予定です。

日 時:平成28年9月23日(金)

第71回日本体力医学会大会1日目

17:30~19:30の予定

会 場:学会大会会場において調整中

参加費:1,000円(事務連絡費、会場費、AV機材借用費等)
 研究会の当日、受付にて申し受けます。

懇親会:研究会終了後に「運動免疫学研究会」、「筋肉の
 会」、「身体運動制御の会」の合同で行う予定です。

世話人:

「運動免疫学研究会」

奥津光晴

(名古屋市立大学大学院システム自然科学研究科)

〒467-8501 名古屋市瑞穂区瑞穂町山の畑1

TEL:052-872-5837

e-mail: okutsu@nsc.nagoya-cu.ac.jp

「筋肉の会」

山内秀樹

(東京慈恵会医科大学分子生理学講座体力医学研究室)

〒182-8570 東京都調布市国領町8-3-1

TEL:03-3430-8686(2445) FAX:03-3480-4591

e-mail: yamauchi@jikei.ac.jp

「身体運動制御の会」(旧筋電図の会)

中島 剛 (杏林大学医学部統合生理学教室)

〒181-8611 東京都三鷹市新川6丁目20-2

TEL:0422-47-5511 FAX:0422-44-1816

e-mail: tsunakaj@ks.kyorin-u.ac.jp

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団「第28回助成研究発表会」の開催について

○第28回助成研究発表会

- ・開催期日 平成28年7月26日(火)
- ・開催場所 都市センターホテル
(東京都千代田区平河町)
- ・参加料は無料. 参加希望者は財団にファックス・メール等で事前に申込.
- ・詳細については, 財団のウェブサイトをご覧ください.

公益財団法人ソルト・サイエンス研究財団
(<http://www.saltscience.or.jp>)
Fax: 03-3497-5712 Tel: 03-3497-5711
E-mail: saltscience@saltscience.or.jp

第24回日本発汗学会総会のご案内

会 頭: 片山一朗

(大阪大学大学院医学系研究科内科系臨床医学
専攻情報統合医学講座皮膚科学教室)

会 期: 平成28年8月27日(土)~28日(日)

会 場: 大阪大学銀杏会館

(〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2)

プログラム:

1) 基調講演

「幹細胞ニッチと汗腺幹細胞 (仮)」

関口清俊 (大阪大学蛋白質研究所蛋白質化学研究部
門細胞外マトリックス研究室)

2) 会頭講演

「発汗研究の歴史からみえてくるアトピー性皮膚炎
の新しい病因論と治療指針」

片山一朗 (大阪大学皮膚科学)

3) 招請講演

「皮膚の角層バリア機能, 保湿機能 (仮)」

田上八朗 (東北大学名誉教授)

4) 教育講演

「ヒトの体温調節機構 (仮)」

近藤徳彦 (神戸大学発達科学部人間発達環境学研究科)

5) シンポジウム1「宇宙と汗」

座長: 河合康明 (鳥取大学医学部医学科生理学講座
適応生理学分野)

岩瀬 敏 (愛知医科大学)

シンポジスト: 大平充宣 (同志社大学スポーツ健康
科学部スポーツ健康科学) ほか

シンポジウム2 企画中

6) ワークショップ

「発汗異常に対する新しい治療アプローチ」

オーガナイザー 金田眞理 (大阪大学皮膚科)

7) 一般演題

8) 市民公開講座

「汗の悩みに応える: これまでとこれから」

「無汗症 (仮)」中里良彦 (埼玉医科大学神経内科)

「多汗症 (仮)」藤本智子 (都立大塚病院皮膚科)

9) 機器展示

演題募集: 一般演題を募集いたします.

演題登録先: 大会ホームページの【演題募集】からご登録ください.

<http://derma.med.osaka-u.ac.jp/24jspr/index.html>

(原則メールでのお申し込みは受け付けておりません
のでご注意ください)

採否はメールでお知らせします. なお, ホームページ
やメールでの登録が困難な場合は総会事務局までご連絡
下さい.

総会事務局:

〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-2

大阪大学大学院医学系研究科 皮膚科学教室内

TEL: 06-6879-3031 FAX: 06-6879-3039

E-mail: 24jspr@derma.med.osaka-u.ac.jp

演題締め切り: 平成28年6月17日(金)

応募資格:

演者並びに共同演者は日本発汗学会の会員に限りま
す. 非会員の方は下記の学会事務局まで連絡のうえ,
入会の申し込みをお願いいたします.

日本発汗学会事務局:

〒683-8503 鳥取県米子市西町86

鳥取大学医学部適応生理学分野内

日本発汗学会事務局

TEL: 0859-38-6043 FAX: 0859-38-6043

E-mail: hakkan-gakkai@med.tottori-u.ac.jp

SICEライフエンジニアリング部門シンポジウム 講演募集要項

主催・企画：

計測自動制御学会 ライフエンジニアリング部門

協賛：

映像情報メディア学会, 応用物理学会, 看護理工学会, システム制御情報学会, 情報処理学会, 人工知能学会, 精密工学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 日本医療機器学会, 日本医療情報学会, 日本音響学会, 日本機械学会, 日本神経回路学会, 日本神経科学学会, 日本生体医工学会, 日本生物物理学会, 日本体育学会, 日本体力医学会, 日本人間工学会, 日本リハビリテーション工学協会, 日本ロボット学会, バイオメカニズム学会, ライフサポート学会, IEEE EMB West Japan Chapter, 日本生体医工学会関西支部, 計測自動制御学会関西支部, 大阪大学国際医工情報センター, 日本生体磁気学会, 日本生理学会, 日本臨床神経生理学会, Japan Chapter of IEEE Engineering in Medicine and Biology Society (予定・依頼中を含む)

ライフエンジニアリング部門シンポジウム2016(第31回生体生理工学シンポジウム)を下記の要領で開催いたします。本年度は、併催する生体信号処理関係の国際ワークショップ(BSI2016:11月1日~11月3日開催, <http://www.bsi2016.org/>)との特別合同企画「予測医療・動的疾患とデータ科学の融合(予定)」や、特別企画セッション「企業で活躍する若手ライフエンジニアリング研究開発者たち(予定)」など、多くの特別企画をご用意しております。奮って論文投稿、ならびにご参加をお願いいたします。

期 日：2016年11月3日(木・祝日)~5日(土)

会 場：大阪国際交流センター

〔大阪市天王寺区上本町8-2-6〕

近鉄上本町駅 徒歩5分

<http://www.ih-osaka.or.jp/access/>

学術奨励賞：ウェブサイトをご覧ください。

申 込 方 法：ウェブサイトをご覧ください。

講演申込締切：2016年7月4日(月)

採 択 通 知：2016年7月下旬

講 演 原 稿：A4版4ページ

原 稿 締 切：2016年9月5日(月)

参 加 費：

参加費には論文集代が含まれます。(すべて消費税込)

会 員 (含む協賛学会) : 12,000円

一 般 ・ 非 会 員 : 14,000円

学 生 : 5,000円

早期割引の設定がございます。また、3,000円の追加参加費で併催する国際ワークショップの第3日目(11月3日)の全てのセッションにもご参加いただけます。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

支 払 方 法：ウェブサイトをご覧ください。

ウ ェ ブ サ イ ト：<http://www.sice.or.jp/org/LE2016/>

問 合 せ 先：le2016.osaka@gmail.com

学 会 事 務 局：部門協議会担当/電話 (03)3814-4121,

E-mail: bumon@sice.or.jp

第59回自動制御連合講演会

主 催 日本機械学会(幹事学会), 計測自動制御学会, システム制御情報学会, 化学工学会, 精密工学会, 日本航空宇宙学会, 電気学会

後 援 日本学術会議

協 賛 (予定)

映像情報メディア学会, 日本応用磁気学会, 日本応用数理学会, 応用物理学会, 日本オペレーションズ・リサーチ学会, 可視化情報学会, 環境システム計測制御学会, 日本感性工学会, 日本経営工学会, 計装研究会, 日本原子力学会, 日本建築学会, 日本行動計量学会, 日本シミュレーション学会, 照明学会, 日本神経回路学会, 日本神経科学学会, 信号処理学会, 自動車技術会, 人工知能学会, 日本生産管理学会, 日本生体医工学会, 日本生物物理学会, 石油学会, 日本設計工学会, 日本繊維機械学会, センシング技術応用研究会, 日本船舶海洋工学会, 日本体力医学会, 日本知能情報ファジィ学会, 日本鉄鋼協会, 電子情報通信学会, 土木学会, 日本人間工学会, 日本熱測定学会, 日本熱物性学会, 農業機械学会, バイオメカニズム学会, 日本バーチャリアリティ学会, パワーエレクトロニクス学会, 日本非破壊検査協会, ヒューマンインタフェース学会,

日本フルードパワーシステム学会, 日本マリンエンジニアリング学会, 日本リモートセンシング学会, 日本ロボット学会, 日本鑄造工学会, 日本生物環境工学会, IEEE Control Systems Society Japan Chapter, IEEE Control Systems Society Kansai Chapter, IEEE Geoscience and Remote Sensing Society Japan Chapter

開 催 日 2016年11月10日(木), 11日(金), 12日(土)

会 場 北九州国際会議場(北九州市)

研究発表

最新のご研究で、学術的内容、あるいは実システムへの応用が望まれます。講演時間は質疑応答を含めて15分を予定しています。募集研究分野は例年と同様、多数のオーガナイズドセッションが企画されていますので、<http://www.jsme.or.jp/conference/rengo59/>をご参照下さい。

講演申込締切

2016年8月1日(月)(7月5日から受付開始予定)

講演申込先および方法

『第59回自動制御連合講演会』への講演申込は、ホームページからのオンライン申込となります。登録画面へは、以下のURL

<http://www.jsme.or.jp/conference/rengo59/>
から入れます。ご不明な点がございましたら、rengo59@
jsme.or.jpまでメールにてお問い合わせ願います。

論文原稿提出締切

2016年9月16日(金) (9月5日から受付開始予定)
A4用紙(2段組) 2~6頁,
PDFファイルサイズ: 5MB以内

参加登録費

一般会員(正, 准):

事前登録10,000円, 当日登録12,000円
一般非会員: 事前登録12,000円, 当日登録14,000円
学生会員: 事前登録 3,000円, 当日登録 4,000円
学生非会員: 事前登録 4,000円, 当日登録 5,000円

※主催・協賛団体会員の方には会員価格が適用されます。
※参加登録費には、講演論文集(USBメモリ)とプログラム集を含みます。

懇親会 11月11日(金)

参加費: 事前申込 一般6,000円, 学生4,000円
当日申込 一般8,000円, 学生8,000円

論文原稿執筆要項, 原稿提出方法等

<http://www.jsme.or.jp/conference/rengo59/>に詳細を掲載いたしますので、ご参照ください。

公益財団法人 明治安田厚生事業団 第33回 若手研究者のための健康科学研究助成

研究テーマ

- 指定課題: 運動とメンタルヘルス
 - 一般課題: 健康増進に寄与する学術研究
- ※いずれか1件のみ応募可

助成の金額

総額1,500万円
a. 指定課題(10件): 1件につき100万円,
b. 一般課題(10件): 1件につき50万円

応募資格

- 健康科学研究に従事し、修士以上の学位を有する方(医学・歯学の学士などを含む)
- 40歳未満かつ所属長または指導教官の推薦を受けた方
- 第32回(前年度)受贈者は除外

応募締切

2016年8月25日(木) 必着

主 催: 公益財団法人 明治安田厚生事業団
後 援: 日本体力医学会
明治安田生命保険相互会社

選考委員:

委員長 福永哲夫(鹿屋体育大学学長)
委 員 井澤鉄也(同志社大学大学院スポーツ健康科学研究科長)

委 員 小熊祐子(慶應義塾大学スポーツ医学研究センター准教授)

委 員 定本朋子(日本女子体育大学教授)

委 員 新開省二(東京都健康長寿医療センター研究所副所長)

委 員 永松俊哉(公益財団法人明治安田厚生事業団体力医学研究所所長)

(敬称略・五十音順)

※応募方法:

申請書を研究助成ホームページからダウンロードして作成してください

作成した「エクセル形式のファイル」と「PDF形式に変換したファイル」をセットにして、事務局宛にメールでお送りください

※申請書ダウンロード:

URL: <http://www.my-zaidan.or.jp/josei/>

※申請書送付: E-mail: josei@my-zaidan.or.jp

※お問合せ:

公益財団法人 明治安田厚生事業団体力医学研究所
研究助成事務局

〒192-0001 東京都八王子市戸吹町150

TEL 042-691-1163 FAX 042-691-5559

日本医学会だより

JAMS News

2016年5月 No.55
日本医学会

◆日本医学会協議会

日本医学会会長・副会長と日本医師会（日本医学会担当）役員で毎月開催している会議である。

◆第83回日本医学会定例評議員会

平成28年2月17日に開催した。平成27年度年次報告、平成28年度事業計画の報告のほか、第29回日本医学会総会2015関西の終了報告、第30回日本医学会総会2019中部の開催準備状況の報告があった。第30回総会の会期は、変更となり、2019年（平成31年）4月27日（土）～29日（月・祝日）となった。これは、3連休を含むほうがより多くの方が参加しやすいのではないかとの意見が総会役員会にて出されたことによる。

平成27年度新規加盟学会は、日本認知症学会、日本集団災害医学会、日本小児血液・がん学会の3学会が承認され、126学会となった。

◆日本医学会加盟検討委員会

平成27年度第1回日本医学会加盟検討委員会を、平成27年11月13日に開催した。加盟申請の28学会についての審査を慎重に行い、その結果を平成28年1月13日の日本医学会協議会で高久会長に報告した。

◆日本医学会「遺伝子・健康・社会」検討委員会

第12回委員会を平成28年3月31日に開催した。ゲノム医療医実用化推進タスクフォース

の進捗状況について、出生前診断における遺伝カウンセリング及び支援体制について等を議論した。

◆日本医学会利益相反委員会

第13回日本医学会利益相反委員会を、平成28年3月28日に開催した。①第2回研究倫理教育研修会（3委員会合同）開催、②日本医学雑誌編集者組織委員会活動報告、③診療ガイドライン策定にかかるCOI管理、④診療ガイドライン策定参加資格基準ガイダンス案等について意見交換を行った。

◆日本医学会医学用語管理委員会

平成27年12月1日に平成27年度日本医学会分科会用語委員会を開催した。主な議題は、1. 分科会における医学用語集の作成あるいは改定に際しての提言、2. 日本医学会医学用語辞典 用語比較の書式&更新内容、3. 指定難病名に対する日本医学会医学用語管理委員会の対応、4. 医療現場で繁用される用語に関する問題提起、5. 標準病名マスターとその周辺の話題等である。

◆第20回日本医学会公開フォーラム

「肝炎」をテーマに、平成28年6月18日（土）13:00～16:00、日本医師会館大講堂において開催する（組織委員長：小池和彦・東京大学大学院医学系研究科消化器内科学教授）。市民を対象とした公開フォーラムであり、参加希望者は、郵便はがき、FAX、本会ホームページ

(<http://jams.med.or.jp/>) のいずれかの方法で申し込まれたい。参加費無料。プログラムは、下記のとおり。終了後、ホームページにて映像配信する。

1. 序論：肝炎の疫学/小池和彦（東京大学大学院医学系研究科教授・消化器内科学），
2. B型肝炎の最新治療/四柳 宏（東京大学大学院医学系研究科准教授・生体防御感染症学），
3. C型肝炎の最新治療/竹原徹郎（大阪大学大学院医学系研究科教授・消化器内科学），
4. 今、注目の脂肪肝・NASHとは？/渡辺純夫（順天堂大学大学院医学研究科主任教授・消化器内科学），
5. 肝がんの最近の動向/黒崎雅之（武蔵野赤十字病院消化器科部長）

◆第 149 回日本医学会シンポジウム

今回は一般公開シンポジウムとし、「医学用語を考える—医療者・市民双方の視点から—」をテーマに、平成 28 年 6 月 16 日（木）13：00～17：00、日本医師会館大講堂で開催予定。組織委員：脊山洋右，森内浩幸，田中牧郎。参加費無料。終了後、ホームページにて映像配信する。

申し込み・詳細は日本医学会 HP ご参照。

◆医学賞・医学研究奨励賞

平成 28 年度日本医師会医学賞・医学研究奨励賞（旧医学研究助成費）の推薦依頼を日本医師会雑誌の 5 月号に公示。要項は本会に問い合わせいただきたい。受付期間は、5 月 15 日（日）～7 月 4 日（月）。推薦書は、公示日より日本医師会ホームページ（<http://www.med.or.jp/>）からダウンロードできる。

◆日本医学会への加盟申請

平成 28 年度の日本医学会への新規加盟申請は、5 月 15 日（日）に公示（日本医師会雑誌等）

し、7 月 31 日（日）に締め切る。申請書は、公示日より本会ホームページ（<http://jams.med.or.jp/>）からダウンロードできる。

◆移植関係学会合同委員会

平成 4 年 4 月に発足した本委員会は厚生労働省、日本医師会、関係学会で構成されており、世話人を日本医学会長が務めている。

第 33 回委員会は、持ち回り開催とし、施設認定を行った。

◆研究倫理教育研修会

日本医学会連合研究倫理委員会、日本医学雑誌編集者組織委員会、日本医学会利益相反委員会主催の第 2 回研究倫理教育研修会を、「医学研究の適正化と倫理」をテーマに、日本医学会分科会の倫理委員会、編集委員会、利益相反委員会の代表者またはそれに準ずる者（各分科会 3 名以内）を対象として、平成 28 年 5 月 16 日（月）13：00～16：00、日本医師会館大講堂において開催する。

当日は、「医学雑誌編集ガイドライン」（北川正路東京慈恵会医科大学学術情報センター課長補佐）、「オーサーシップの問題点」（北村 聖東京大学大学院医学系研究科附属医学教育国際研究センター教授）、「産学連携の健全化と利益相反管理」（曾根三郎徳島大学名誉教授/徳島市病院事業管理者）、「診療ガイドラインの質と信頼性確保に向けた取り組み」（山口直人東京女子医科大学衛生学公衆衛生学第二講座主任教授）、「今日のゲノム医学・医療の倫理的課題」（福嶋義光信州大学医学部遺伝医学・予防医学講座教授）、「研究倫理に関する医学系と他領域との全国的連携構想」（市川家國信州大学特任教授）の講演がそれぞれ行われる予定。

編 集 後 記

第65巻3号（2016）掲載の総説2編，原著論文4編，教育講座1編をお届けします。

掲載した2編の総説の内容は，運動能力や運動行動の遺伝に関するもの，食べる速さと食後の熱産生に関するものであり，どちらも本学会会員ばかりでなく，一般にも興味深い内容ではないかと思えます。一方，原著論文では，水素入浴剤の効果に関するもの，高校トップ陸上長距離選手の特性に関するもの，縦断的調査への高齢者の参加に関する報告，高校と大学の自転車競技選手の特性に関するものです。これらの報告内容が多岐にわたっ

ている事は本学会の多様性を示すものと思われ，本号はまさに「体力科学」の名に相応しい内容と考えます。

また，第70回日本体力医学会大会（和歌山）で大変好評であったワークショップ「サルコペニア・フレイル・ロコモティブシンドロームを整理する」より，国立長寿医療研究センターの荒井先生にご発表内容を教育講座として整理していただきましたので，ご一読頂ければ幸いです。

秋本崇之

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.65, No.3

体 力 科 学 第 65 巻 第 3 号

平成 28 年 5 月 25 日 印 刷

平成 28 年 6 月 1 日 発 行

編集兼発行者
発 行 所

田 中 喜 代 次
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL：03-5981-6015 FAX：03-5981-6012
E-mail：jpsfsm@asas.or.jp

編 集 事 務 局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL：0235-22-3120 FAX：0235-22-3120
E-mail：hj-tairyoku@turuin.co.jp

印 刷 所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1
鶴岡印刷株式会社
